

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第2号 2010年7月10日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局 千葉市中央区要町2-8 DCC会館内 TEL 043-222-7207 nationwidemovement@yahoo.co.jp

全国各地に全国運動組織を立ち上げ会員を拡大しよう

国鉄闘争の成否が日本の労働運動の運命決める

私が最初に国鉄闘争に関連したのは、生産性向上運動というのが70年前後にありましたね。あの頃から国鉄闘争に関係を持ってきて、分割・民営化の「国鉄改革法」が中心で議論されておる1986年の解散総選挙で見事落選したわけでありま

す。それからどうしようかと考えたのですが、もう政界に入っただけで、もう当時の岡山県下の状況を見て、地元の労働者の闘いを積極的に考えてみなければだめなんじゃないかという気がしたわけです。

そこで最初に手がけたのが「国鉄闘争に連帯する会」を作ったのですが、いろいろなことをみなさんと一緒にやってきたわけでありました。

今の国鉄闘争をめぐる状況というのは、私は下手をした



今、和解だということでは、民主党、社民党、国民新党、これに公明党が加わって和解をやったらどうだということになっておるようなのですが、私は、我々の側から和解を持ちかける話

国鉄闘争の新たな全国運動を職場や地域に広めよう！

呼びかけ人 矢山有作 (元衆議院議員)

ら、これまでの闘争を潰されてしまってもなんにも残らんようになってしまふ。その危機感を非常に強く持っているわけです。

従って、動労千葉が「国鉄分割・民営化に反対し、1047名の解雇撤回闘争を支援する全国運動」の呼びかけをやるん

ではないと思うんです。我々の方から和解を持ちかけたら、その条件・内容は徹底的に切り縮められます。我々は和解だなんていうようなことを考えずに、やっぱり労働者の権利・生活

「国鉄改革法」は国労解体の違憲立法 大体「国鉄改革法」などという法律は違憲立法ではありませんか。労働三権を保障した憲法

には、国労の大会で賛成ですと言わせないかん。賛成ですと機関決定してしまつたら、法律

中曽根は絶対に許せない もう一つ、国鉄改革をやった中曽根はね、臨調が作られた時から関係しつたんですよ。

と、思っただけなんです。あ、なんぼ歳はとつてもやれることはあるだろうと。年甲斐もなくまたこんなところへ首を突っ込んで来たということであ

働いても働いても食えない状態の賃金で働き使われる、そういう状態に全体的になってしま

電産が総評の指導的な勢力だったんです。電産がストライキをやつたら、電話は止まる、電気

なんかできるかと蹴っ飛ばされちゃう。 そういう状態の中でね、いくら金をやるからこれでおさめ

私はその時に思ったんです。マスコミというのはどうしようもない奴がそろっているのか

労働者の権利は自分で闘

や、やはり労働者の権利・生活というのは闘うことによって初めて勝ち取られるんであって、棚か

これは明確に憲法違反の法律なんでしょうね。ところが憲法を犯

で矛をおさめると言っているわけですよ。人を「小馬鹿」にする

その当時のことを思い出していくとすさまじいです。そういうことの中で、結局国労が孤立

(裏面に続く)

全国運動東部の会結成 70名の熱気で大成功!

「7・2国鉄分割・民営化反対! 1047名解雇撤回 新たな全国運動 東部の会」結成集会が、亀戸カメリアプラザで開催され、70名の結集で大成功を勝ち取りました。

司会の区職労の仲間からの「自分の職場で闘おう」という開会あいさつで集会は始まり、まず動労千葉争議団・1047名当該の中村仁さんが決意を述べました。中村さんは「労働者として働く権利を奪われた。だから24年間解雇撤回で闘ってきた。まずはJRに謝らせなければならぬ。それから解雇撤回だ。一人の解雇も許さない立場に立つのが労働者」と、動労千葉労働運動の核心にある階級的団結論の真髄を示しました。続いて国労秋田闘争団の小玉忠憲さんが「国鉄分割・民営化は運命でも宿命でもない。動労千葉のように闘えば分割・民営化は阻止することができた」「23年間草むしり、冬は除雪の仕事をやられている仲間がいる。そういう中で少数になりながら国労の旗を守り逆にならぬように闘う。指導部は闘わないが、現場の組合員は闘って旗を守っている。現場労働者の中に闘いがある」と。中村さんと小玉さんの火を吐くようなアピールは参加者全体を獲得しました。



続いて委託職場で働く仲間が基調提起を行ないました。自らの地域での経験に踏まえて「6・13集会は、この火を守り抜き、拡大しようという熱意な意思を示した感動的な集会となりました。私たちは東部の地でこの闘いを大きく創り出すために集まりました」と提起し、「東部の会の目的とこれからの闘い」として、①あくまで1047

名の解雇撤回を求めて闘う。②動労千葉とともに動労千葉のように闘う。③自らの地域・職場で、民営化・外注化・非正規化を打ち破り、新自由主義と対決する労働運動を創り出すという3項目を提起しました。

続いて動労千葉新小岩支部・佐藤正和支部長が、ブラジル訪問の報告も行いながら「国鉄闘争全国運動東部の会」の先頭で闘うことを宣言。そして職場からの発言に入り、民間労組の仲間が、自らの解雇撤回闘争の経験に踏まえ、「もし和解の場で前原談話のような話が出たら私だったら机をひっくり返していい」と、なぜなら前原談話は「不当労働行為は正しかった。だけれどかわいそうだから金はやる。だから闘いをやめろ」ということだからだ」と、今回の政治和解を弾劾しました。東交の青年労働者は東交における民営化・外注化反対の闘いを、東交・動労千葉支援する会の会員拡大と一体のものとして闘うと宣言しました。さらに学校給食の民間委託職場で闘う仲間から、過酷な職場の現実とそこでの闘いが報告されました。

ここで事務局から会員拡大の具体的な方針と、委託職場、自治体、教組から3名の共同代表と、事務局長として動労千葉新小岩支部佐藤正和支部長、事務局次長に東部ユニオン委員長の小泉が就任することが提起され、拍手で承認されました。そして役員を代表して、日の丸・君が代被解雇者の米山良江さんが葛飾支援協結成に闘った思いを語り、被解雇者として「東部の会」の先頭に立って闘うことを決意表明してまとめました。最後には座席も足りなくなるといふほどの結集の中で元氣よく団結力アップを行いました。(東京東部地域合同労働組合東部ユニオン委員長 小泉義秀)

(表面からの続き)
それから私は、国労自体の体質の問題もあったと率直に思っているんです。というのは、当時も国鉄には下請け労働者がいたんです。その下請け労働者は全然国労の立場に立たなかつたですね。国労組合員がやられていた、「さあまろ」と、「威張りくささるからこうなるんだ」と、国労のあり方に反感を持っていた。私はそういうことを考えると、やっぱり労働運動のあり方というものが真剣に考えていかなければならぬんじゃないかと思えます。

特に最近痛感しております。全闘争の指導部になって闘う。全国運動にはそういう意義がある。「政府には絶対に謝罪させなければならぬ。国鉄闘争は労働者の未来のかかった闘いだ。先頭に立って解雇撤回の旗を振り続ける」と熱烈にアピールしました。

ス労自主西日本合同分会連合会、合同労組レイバユニオン福岡をはじめ、地元九州の闘う労働者の発言はどれも、国鉄闘争を闘い、自らの職場で資本と闘うという決意にあふれたものでした。九州の地でも、全国運動が力強く始まったことを実感させられる集会でした。(投稿)

6・27集会 九州の地でも 全国運動力強く始まる

「和解調印」前日の6月27日、九州・小倉にある商工貿易会館大ホールで開かれた「国鉄分割・民営化反対、1047名解雇撤回! 国鉄闘争の火を消すな! 6・27北九州集会」に参加しました。この集会は、6・13集会を皮切りに進んだ新たな全国運動を九州の地で本格的にスタートさせる集会です。

元九州国際大学学長の竹内良夫さんが「今日の集會を、全国の仲間、沖縄の闘いととも、国鉄1047名解雇撤回の闘いを広めるスタートにしよう」と力強く開会あいさつ。さらに全国運動呼びかけ人である手嶋浩一さんが「この闘いを新自由主義攻撃を押しとどめるものにして」とアピールしました。

集会のハイライトは国労旭川闘争団の成田昭雄さん、小倉

た。なぜなら前原談話は「不当労働行為は正しかった。だけれどかわいそうだから金はやる。だから闘いをやめろ」ということだからだ」と、今回の政治和解を弾劾しました。東交の青年労働者は東交における民営化・外注化反対の闘いを、東交・動労千葉支援する会の会員拡大と一体のものとして闘うと宣言しました。さらに学校給食の民間委託職場で闘う仲間から、過酷な職場の現実とそこでの闘いが報告されました。

ここで事務局から会員拡大の具体的な方針と、委託職場、自治体、教組から3名の共同代表と、事務局長として動労千葉新小岩支部佐藤正和支部長、事務局次長に東部ユニオン委員長の小泉が就任することが提起され、拍手で承認されました。そして役員を代表して、日の丸・君が代被解雇者の米山良江さんが葛飾支援協結成に闘った思いを語り、被解雇者として「東部の会」の先頭に立って闘うことを決意表明してまとめました。最後には座席も足りなくなるといふほどの結集の中で元氣よく団結力アップを行いました。(東京東部地域合同労働組合東部ユニオン委員長 小泉義秀)

それから私は、国労自体の体質の問題もあったと率直に思っているんです。というのは、当時も国鉄には下請け労働者がいたんです。その下請け労働者は全然国労の立場に立たなかつたですね。国労組合員がやられていた、「さあまろ」と、「威張りくささるからこうなるんだ」と、国労のあり方に反感を持っていた。私はそういうことを考えると、やっぱり労働運動のあり方というものが真剣に考えていかなければならぬんじゃないかと思えます。

羽廣さんは「国労指導部は何一つ闘いを組織してこなかった。今度はわれわれ自身が国鉄

7・14 鉄道運輸機構弾劾闘争
7月14日(水) 14時30分 桜木町駅前(主催 動労千葉)

7・28 一日行動
○国労大会一日目闘争 9時、伊東・聚楽ホテル前
○動労千葉鉄建公団訴訟第25回公判闘争 11時、日比谷公園霞門集合・デモ行進
13時半、東京地裁527号法廷で傍聴
○国鉄闘争勝利総決起集会(主催 共に闘う国労の会)
18時半、文京区民センター(春日駅1分、水道橋駅10分)

外注化と闘い、下請・孫請け労働者を全部組織しよう

動労千葉の闘いを孤立させない

私はまだ3、4年は生きると思っています。皆さんと一緒にやることはやりたいと思っております。(6月6日に岡山で行われた「岡山国鉄闘争集会」でのアピールを編集して掲載しました)

「和解除印」前日の6月27日、九州・小倉にある商工貿易会館大ホールで開かれた「国鉄分割・民営化反対、1047名解雇撤回! 国鉄闘争の火を消すな! 6・27北九州集会」に参加しました。この集会は、6・13集会を皮切りに進んだ新たな全国運動を九州の地で本格的にスタートさせる集会です。

元九州国際大学学長の竹内良夫さんが「今日の集會を、全国の仲間、沖縄の闘いととも、国鉄1047名解雇撤回の闘いを広めるスタートにしよう」と力強く開会あいさつ。さらに全国運動呼びかけ人である手嶋浩一さんが「この闘いを新自由主義攻撃を押しとどめるものにして」とアピールしました。

集会のハイライトは国労旭川闘争団の成田昭雄さん、小倉

た。なぜなら前原談話は「不当労働行為は正しかった。だけれどかわいそうだから金はやる。だから闘いをやめろ」ということだからだ」と、今回の政治和解を弾劾しました。東交の青年労働者は東交における民営化・外注化反対の闘いを、東交・動労千葉支援する会の会員拡大と一体のものとして闘うと宣言しました。さらに学校給食の民間委託職場で闘う仲間から、過酷な職場の現実とそこでの闘いが報告されました。

ここで事務局から会員拡大の具体的な方針と、委託職場、自治体、教組から3名の共同代表と、事務局長として動労千葉新小岩支部佐藤正和支部長、事務局次長に東部ユニオン委員長の小泉が就任することが提起され、拍手で承認されました。そして役員を代表して、日の丸・君が代被解雇者の米山良江さんが葛飾支援協結成に闘った思いを語り、被解雇者として「東部の会」の先頭に立って闘うことを決意表明してまとめました。最後には座席も足りなくなるといふほどの結集の中で元氣よく団結力アップを行いました。(東京東部地域合同労働組合東部ユニオン委員長 小泉義秀)

それから私は、国労自体の体質の問題もあったと率直に思っているんです。というのは、当時も国鉄には下請け労働者がいたんです。その下請け労働者は全然国労の立場に立たなかつたですね。国労組合員がやられていた、「さあまろ」と、「威張りくささるからこうなるんだ」と、国労のあり方に反感を持っていた。私はそういうことを考えると、やっぱり労働運動のあり方というものが真剣に考えていかなければならぬんじゃないかと思えます。